

次代を担う

～青年中央会の会員紹介～

「三重県中小企業青年中央会」は、三重県中小企業団体中央会の会員組合に組織されている青年部を会員としています。会員相互の連携と組合青年部等の事業活動を強化することにより、次世代を担う指導者の養成を図り、中小企業並びに組合の事業活動促進、企業の振興発展に寄与することを目的としています。ここでは、青年中央会会員である組合青年部さんをご紹介します。

三重県木材青壮年団体連合会 会長 松谷健吾(まつたにけんご)氏



松谷健吾氏

三重県木材青壮年団体連合会(以下:木青連)は、三重県内において一般製材業及び建築用組立材料製造業の事業を資格事業とする協同組合を会員とする三重県木材協同組合連合会の青年部会です。

会長の松谷健吾氏は、津市芸濃町にあるヤマカ木材の3代目で、この仕事に就いて10年、木青連に携わって8年になります。

木青連は、津地区の親木会(しんぼくかい)、亀山地区の亀山木材青壮年部会ピノ木オ(ピノキオ)、松阪地域の青和会(せいわかい)、熊野地区の熊野林星会(りんせいかい)と4つの地域に会があり、現在のメンバーは52名です。

松谷氏は平成29年4月に青年部会会長に就任し、5月に開催された日本木材青壮年団体連合会の全国大会に出席しました。

松谷氏に青年部会について伺うと、自営業だといふ行動範囲が限られるところを、会に参加することにより多くの方々との出会いがあり、人とのつながりができることがとても魅力的であると答えてくれました。

木青連では、毎年度、三重県、そして親会の三重県木材協同組合連合会とともに「三重県児童・生徒木工工作コンクール」を開催しており、審査員の1人として松谷氏も審査しました。応募作品はどれも完成度が高く、感心したそうです。

会長の任期は1年。会長就任時、「本来なら会長ということで皆さんを引っ張っていかなくてはいけない立場だと思うけれど、まずは1つになって“チーム三重”としてこの業界を盛り上げていきたい。」と話したそうです。

松谷氏は33歳。木青連のメンバーは、松谷氏より年上の方々がばかりで教えてもらうことや学ぶことが多いそうです。皆さんが協力してくれ、困っていたら

助けてくれる。まだまだ自分のことで手一杯なところもありますが、自分が成長し、会員皆さんの知恵をお借りしながら頑張っていきたい、また、製材業界は、柱材のみとか土台用材のみといった専門的な業者が多い中、自社は様々な部材を扱っており、木青連のメンバーからも部材についての問い合わせや注文がありうれしいと話します。

そして、「住むなら、やっぱり木の家だと思う。」と話す松谷氏の周囲にはチャレンジ精神を持った人も多く、そんな人々の影響もあり、「やっても無駄かなと思うことでも挑戦してみなくては、と思っている。」と話します。

同社では、県主催の婚活パーティや、津ボートでのチャリティイベントでの木の箱やコースターづくりの協力、また、新町フェスタでは、木工教室を開催し廃材を活用して好きなものを作ってもらうなどの活動も行っています。「私がどんなに木がいいと言うよりも、木にふれてもらうことが一番だと思う。木には温かみがある。香りも良い。来て見てさわってもらうことに効果がある。そして、鉄骨か木造かとなったとき、木造を選んでもらえたらうれしい。」と木に対する想いを話してくれました。



三重県児童・生徒木工工作コンクール優秀作品展示会の模様